



知財英語コミュニケーションワークショップ

"Breaking Down Barriers to IP English Communication"

実施日程	第1回 2018年1月27日(土) 14:00-17:15 新橋汐留ビジネスセンター 第2回 2018年2月10日(土) 14:00-17:15 新橋汐留ビジネスセンター 第3回 2018年2月24日(土) 14:00-17:15 新橋汐留ビジネスセンター
受講料	30,000円(税込・テキスト代込)
対象者	<ul style="list-style-type: none">● 知財実務で英語を話す必要があるが、人前で英語を話すことに抵抗がある人● 現地代理人とのミーティングや会食で英語での会話を楽しみたい人● 現地代理人や海外のカウンターパートと英語で意思疎通ができるようになりたい人● 欧米の特許事務所主催のセミナーや、JIPAのFコースのような海外研修に参加予定の人、または将来参加したい人● 海外出張や海外駐在の予定がある人、または希望する人
概要 ねらい	<p>知財実務において、海外企業や現地代理人と英語で意思疎通ができれば業務の効率化やコストカットにつながる、と頭ではわかっている、人前で英語を話すことへの抵抗感を打ち消すことができない人は多いと思います。英語は「習うより慣れる」、本で理屈を学ぶのではなく、どんどん声に出して体で覚えていくことが、人前で話せるようになるための近道です。</p> <p>本講座では、知財実務で必要となる英語でのコミュニケーションを、プレゼンテーションとディスカッションの演習を通して身に付けていただきます。プレゼンテーションは、3~4人組のグループで行いますので、資料作成が分担でき、1人で全てのプレゼンテーションを行うより心強いです。またディスカッション演習では、現地代理人との会食を想定したスモールトークを中心に練習します。</p> <p>講義は、(受講生の反応をみながら)日本語と英語の両方で行います。アシスタントとしてネイティブ講師がつかます。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none">● 人前で英語を話すことに抵抗がなくなる● 現地代理人や海外カウンターパートとのコミュニケーションを良くし、効率的に仕事を進められるようになる。



担当
講師

田中 康子（たなか やすこ）

千葉大学理学部（二次試験の受験科目に英語無し）卒業。1990年4月帝人(株)の知的財産部にて、特許出願権利化・他者特許対策（クリアランス）・ライセンス・係争・知財教育等の実務に携わる。2005年2月ファイザー(株)知的財産部入社、2006年9月住友スリーエム(株)（現スリーエムジャパン）知的財産部入社。これら外資系企業にて、米国本社知財部門・研究開発部門との日常的な英語による実務を経験し英語によるグローバルコミュニケーションスキルを身に付ける。2013年3月に住友スリーエムを退職し、同年4月に知財経営コンサルティング会社「エスキューブ株式会社」を、8月に「エスキューブ国際特許事務所」を設立。2014年度より大手メーカー知財部にて知財英語コミュニケーションの指導にあたる他、セミナー・ワークショップにて知財英語コミュニケーションの指導を行っている。

強み：もともと苦手であった英語を克服した経験から、英語が得意でない人の気持ちがわかること。幅広い知財実務を経験しているため、知財実務上どの様な場面で英語が必要なのか、どの様な表現が必要なのかを的確に理解してアドバイスできること。

【第1回】目標：人前で抵抗なく英語を話す

<レクチャー&演習>

- イン트로ダクション
- 演習：自己紹介（全員）
- レクチャー：知財英語コミュニケーションとは何か？
- レクチャー：知財英語プレゼンテーション1（序論、まとめ、Q&A）
- グループ演習：プレゼンテーションの準備
- 演習：ファーストプレゼンテーション
（イントロダクション/トピック（アジェンダ）の紹介/サマリー/Q&A）
- Q&A

内容
（予定）

【第2回】目標：英語でプレゼンテーションする

<レクチャー&演習>

- イン트로ダクション
- 演習：セカンドプレゼンテーション
- プレゼンテーションへのフィードバック
- レクチャー：知財英語プレゼンテーション2（本論）
- グループ演習：ディスカッション1
- レクチャー：挨拶とアイスブレイキングのポイント
- ディスカッションの振り返り
- Q&A

【第3回】目標：英語で積極的に発言する

<レクチャー&演習>

- イン트로ダクション
- 演習：ファイナルプレゼンテーション（全グループ）
- ファイナルプレゼンテーションへのフィードバック
- レクチャー：トークの幅を広げるためのポイント
- グループ演習：ディスカッション2
- ディスカッション2の振り返り

- **まとめ**
 - ・ 知財英語コミュニケーションスキルを維持・向上するためには
 - ・ Q&A

参考図書

事前に学習したい方は、BIZLAW 連載『さあ、「知財英語」で話そう』全9編をご参照下さい。

第1回 知財英語コミュニケーションとは何か？：http://www.bizlaw.jp/ipenglish_01/

第2回 知財英語プレゼンテーション1：http://www.bizlaw.jp/ipenglish_02/

第3回（前編）知財英語プレゼンテーション2 Main body：http://www.bizlaw.jp/ipenglish_03/

第3回（後編）知財英語プレゼンテーション2 Annex Main body：http://www.bizlaw.jp/ipenglish_04/

第4回 知財英語ディスカッション1：http://www.bizlaw.jp/ipenglish_05/

第5回 知財英語ディスカッション2：http://www.bizlaw.jp/ipenglish_06/

第6回（前編）現地代理人とのコミュニケーション1：http://www.bizlaw.jp/ipenglish_07/

第6回（後編）現地代理人とのコミュニケーション2：http://www.bizlaw.jp/ipenglish_08/

最終回 さあ、「知財英語」で話そう：http://www.bizlaw.jp/ipenglish_final/